

令和5年度 後期学校評価の結果について

早春の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素から本校教育活動にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

12月に実施致しました「学校評価アンケート（後期）」のご協力、ありがとうございました。本校では毎年、学校と家庭が双方向の関係性を構築し、それぞれの立場から子どもの豊かな学びと育ちを実現するために、年に2回、保護者の方々へのアンケートにご協力いただいています。

本お便りでは、前回実施から半年経った子どもたちの様子について、児童・保護者・教師それぞれの立場から子どもたちの様子を見取り、ご回答いただいた結果を基にその変容等について考察します。

成果と課題を検討し、それらを踏まえたうえで来年度の教育活動への改善等へつなげていきたいと考えております。今後ともご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

アンケート集計結果（数字は%、質問文は児童用のアンケートのもの）

「確かな学力」

	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者
	高学年児童		高学年児童		高学年児童		高学年児童	
	そう思う		大体そう思う		あまりそう思わない		そう思わない	
学校や家庭で、楽しく学習している。	50	33	35	55	11	10	4	2
	32		58		7		3	
授業がよくわかる。	51	21	40	64	4	14	5	1
	30		65		4		1	
授業中、先生や友達の話最後までしっかり聞いている。	59	26	33	59	4	15	4	1
	30		65		5		0	
めあてや目標をもって学習に取り組んでいる。	42	13	38	58	18	28	2	2
	24		56		17		2	
授業中、自分から進んで発表している。	42	22	32	47	21	28	5	3
	21		29		39		11	
家庭学習や宿題を自分から進んでしている。	45	28	36	42	14	26	5	4
	48		29		19		4	
本をよく読んでいる。	62	31	20	28	10	35	8	6
	38		35		17		10	
忘れ物なく自分で学習の準備ができています。	54	36	26	44	11	13	9	7
	35		47		15		3	

この項目は、本校教育活動における主に基礎的・基本的な知識・技能の習得および、探究活動を通した主体的・対話的で深い学びの実現に関わる内容となります。

解答項目の内、課題的な内容を中心に以下の3項目を抽出し、考察します。

	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者
	高学年児童		高学年児童		高学年児童		高学年児童	
	そう思う		大体そう思う		あまりそう思わない		そう思わない	
授業がよくわかる。	51	21	40	64	4	14	5	2
	30		65		4		1	
授業中、自分から進んで発表している。	42	22	32	47	21	28	5	3
	21		29		39		11	
本をよく読んでいる。	62	31	20	28	10	35	8	6
	38		35		17		10	

「授業がよくわかる。」

「そう思う」「大体そう思う」を合計した**肯定的な回答**の割合が、前期に引き続き、児童に関しては**9割以上**、保護者教師共に**8割以上**の回答となりました。また、「**学校や家庭で楽しく学習している。**」の項目でも同じく、児童の肯定的な回答が8割以上の回答となりました。

「令和5年度 学校教育の重点」において「自ら学ぶ力」の育成について触れられています。学校生活においても多様な気づきや好奇心を大切にし、子どもたちが「知りたい」「学びたい」という高まりを感じるきっかけを作るための授業改善を心がけて取り組んでいきたいと思います。また、少しの割合ですが、学習に対して前向きに取り組めていない児童がいることを教職員一同が意識して、子どもたちの自主的な学びを進める環境づくりを進めていきたいと思います。

「授業中、自分から進んで発表している。」

「あまりそう思わない」「そう思わない」を合計した**否定的な回答**の割合が、高学年児童に関しては**5割**、低学年に関しては**2割以上**という結果になりました。

いわゆる主体性を問う内容となります。「恥ずかしい」「自信がもてる時だけ発表している」という理由をあげている子どもが多く、落ち着いて前向きに学習に取り組む本校の子どもたちですが、積極的にという面では課題が残ります。自分の思いを表現することは、学習を進めていくうえでも大切なことです。また、コミュニケーション力の基礎になる部分でもあるので、失敗を恐れず、思いを表現できる子どもたちに育ってほしいと思います。そのため、教師からの普段からの声掛けなど、子どもの自発的・自主的な姿勢を今後も育ていけるよう取り組んで参ります。

「本をよく読んでいる。」

前期と大きく変わらず、否定的な回答の割合が、高学年児童に関しては**3割弱**、低学年児童については**肯定的な意見**が8割以上という結果になりました。

高学年の子どもたちの否定的な意見の理由として、「ゆっくり読む時間がない」という子どもたちが多くいました。習い事などで放課後が忙しいのも理由の一つかもしれません。

本校では年3回の読書週間や、親子読書、図書委員会での取組、図書館司書による読み聞かせ、100冊読書、など読書推進への取組を行っています。低学年のポイントが高さを維持できるように今後も本の魅力を伝えていきたいと思います。

「豊かな心」

	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者
	高学年児童		高学年児童		高学年児童		高学年児童	
	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない				
自分から進んであいさつ ができています。	57	28	27	45	11	26	5	1
	54		39		6		1	
こまったことがあれば、周 りの人に相談している。	55	28	30	56	10	11	5	5
	24		40		26		10	
家で学校であったできごと をお家の人に話している。	62	26	23	56	10	16	5	2
	49		31		16		4	
自分には良いところがある と思う。	51	24	32	53	10	20	7	3
	32		41		19		8	
難しいと思うことにも失敗 をおそれず挑戦している。	48	17	26	52	19	30	7	1
	33		46		19		2	
学級や学年の仲間と学校 で仲良く過ごしている。	70	45	24	51	4	4	2	0
	56		37		7		0	
係や掃除・給食当番の仕 事に責任をもって取り組ん でいる。	77	29	19	51	2	19	2	1
	57		35		8		0	
学校の物や勉強道具を大 切にしている。	60	24	31	44	7	27	2	5
	51		44		5		0	

この項目は、本校教育活動における、主に道徳教育の充実、規範意識の育成、支え合い、高め合う
集団づくりの推進と絆づくりに関わる内容となります。解答項目の内、課題的な内容を中心に以下の
2項目を抽出し、考察します。

	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者
	高学年児童		高学年児童		高学年児童		高学年児童	
	そう思う		大体そう思う		あまりそう思わない		そう思わない	
自分には良いところがある と思う。	51	24	32	53	10	20	7	3
	32		41		19		8	
学級や学年の仲間と学校 で仲良く過ごしている。	70	45	24	51	4	4	2	0
	56		37		7		0	

■「自分には良いところがあると思う。」

前期と比較すると否定的な回答の割合が、低学年児童が少し増え**2割**、高学年児童は**変わらず2割強**、**保護者が2割程度**という結果になりました。

自己肯定感・自己有用感を高めるためには、周囲の人や大人にがんばりを認めてもらうこと、努力を経て達成感を感じることなどが大切ですが、学級においても「自己決定」「自己存在感」「共感的な人間関係」、を得る機会を設け、生徒指導・教科指導の両面から子どもたちの自尊感情を育て

います。子どもたちが「自分は価値のある存在である」という実感がもてるように子どもたち一人一人を「かけがえのない存在」として捉え、他者との比較ではなく、子どもたちの個別性、独自性を大切に指導していきたいと思います。

■「学級や学年の仲間と学校で仲良く過ごしている。」

肯定的な回答の割合が、前期と同様に**児童・保護者・教師共に9割を超える結果**になりました。豊かな人間関係から、支え合い、高め合う集団作りを目指して、今後も取り組んで参ります。

また、少数ですが人間関係に不安を感じている児童もあり、教職員で共通理解を図りながら、全ての児童に対して細やかな関りをもつことを大切にしていきたいと思います。

「健やかな体」「地域」

	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者
	高学年児童		高学年児童		高学年児童		高学年児童	
	そう思う		大体そう思う		あまりそう思わない		そう思わない	
学校や放課後、安全に気を付けて行動している。	67	31	33	58	0	10	0	1
	60		35		4		1	
学校や家での決まりを守っている。	54	25	40	57	4	17	2	1
	33		61		5		1	
自分や友だちの心や体を大切にしている。	75	45	24	52	1	3	0	0
	55		45		0		0	

	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者	低学年児童	保護者
	高学年児童		高学年児童		高学年児童		高学年児童	
	そう思う		大体そう思う		あまりそう思わない		そう思わない	
花園小学校の地域のことが好きだ。	75	40	18	58	5	2	2	0
	60		30		10		0	

この項目は、保健教育・安全教育の充実、および地域への親しみや愛情に関わる内容となります。

■「花園小学校の地域のことが好きだ。」

「そう思う」「大体そう思う」という肯定的な回答が9割を超えました。「アイラブ花園」の合言葉も子どもたちに浸透してきました。学校では、生活科や総合的な学習の時間などを通して地域のよさや人々の思いに触れ、地域を愛し、地域とのつながりを深め、地域に対する誇りをもってほしいと願っています。これからも、子どもたちが、確かな学力、豊かな心、健やかな体を持ち、将来の夢や希望を胸に生き生きと成長できるような取組を進めてまいります。

以上、後期学校評価について、考察した結果を次年度に引継ぎ、学校評価委員会・地域共通理解のもと、教育活動に活用していきたいと思います。また、自由記述につきましても、今後の子どもたちへの指導の参考にさせていただきたいと思います。前期・後期のアンケートへのご協力ありがとうございました。

